

2023年9月

第156号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
TEL 018-883-1888

## 福島第一原子力発電所の処理水放出について

福島第一原子力発電所は2011年の大地震津波によって発電所が破壊され、溶け落ちた核燃料(核燃料デブリ)を冷却した水で高濃度の放射性物質を処理していたが、地下水や雨水が混じり大量の汚染水が発生していた。この汚染水を「多核種除去設備(ALPS=アルプス)」で浄化処理し、トリチウム(三重水素)以外の放射性物質を除去したものが処理水といわれている。

トリチウムは自然界に広く存在し、放射線のエネルギーも非常に弱く、現在の技術では分離が困難と言われている。しかし、人体への影響はないとの見方が一般的で各国の原子力施設からも海洋に放出されている。処理水は1000基以上のタンクに貯蔵されているが、8月現在の貯蔵量は約134万トン、貯蔵率98%に達し、来年前半には満杯になる見通しとなっている。

日本政府は処理水の海洋放出について今年7月に国際原子力機関(IAEA)から放出の妥当性を認める包括報告書を受理し、国内の漁協関係者、福島県、海外の各国へ処理方法について説明するとともに協力を求めてきた。報道各社の世論調査では海洋放出に賛成する人が反対する人を上回り、全漁連では最後まで放出反対の立場を変えなかったが「科学的な安全性への理解が深まってきた」と一定の評価をする姿勢も見受けられるようになってきた。これらを受けて政府は閣議決定の上8月24日に最初の処理水の放出を行った。放出は今後30年近く続くと思われる。

今回の処理水放出はこれが最終目的ではない。政府と東電は原発の廃炉を最終課題としており、その目標を「41年~51年」を目指しているが、廃炉作業は核燃料デブリを一時保管するなどの新施設が必要となる。こうした新施設の用地確保をするうえでも排水処理は避けて通れない課題だった。

今回の排水処理は原発の廃炉のための第一歩に過ぎず今後の長期的戦いが始まったばかりといえよう。科学的には安全性が認められているものの、漁業関係者の不安は直ちに払拭することは困難とみられる。また風評被害も心配される。中国では政治的思惑も加わって日本からの水産物や化粧品にまで全量検査する方針だとも伝えられている。

環境省は海洋放出後、海水中の放射性物質トリチウムの濃度を定期的に測定し公表するなど、モニタリング(監視)を強化する。水産庁も放出口から4~5キロの海域2箇所魚介類に含まれるトリチウムの濃度を測り、結果を2日以内に公表するとしている。いずれにしても科学的な面からも風評被害などの面からもそれらを払拭するため最善の対策を立て万全の態勢で取り組んでほしい。

「ああ、もう道はない」と思えば、打開への道があったとしても、急に見えなくなるものだ。

「危ないっ」と思えば、安全な場所はなくなる。

「これで終わりか」と思い込んだら、終わりの入り口に足を差し入れることになる。

「どうしよう」と思えば、たちまちにしてベストな対処方法が見つからなくなる。

いずれにしても、おじけづいたら負ける。破滅する。

相手が強すぎるから、事態が今までになく困難だから、状況があまりにも悪すぎるから、逆転できる条件がそろわないから負けるのではない。

心が恐れを抱き、おじけづいたときに、自分から自然と破滅や敗北の道を選ぶようになってしまうのだ。

【たわむれ、たばかり、意趣ばらし】

自分を成長させる交際を求める

ニーチェの言葉

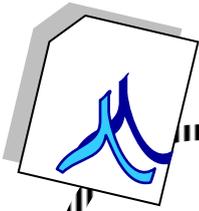
若い人が傲慢でうぬぼれているのは、まだ何者にもなっていないくせに、いかにもひとかどの者のように見せたがっている同程度の連中と仲間になっているからだ。

その甘い錯覚の中でいい気分になり、若き日の時間を浪費するするのはあまりに大きな損失だ。

できるだけ早く、本当の実力によって昇ってきた人間、功労のある人間を見つけて交際すべきだ。

すると、今までの自己満足的なうぬぼれや内容のない粹がりや見栄、傲慢などたちまちにして消え失せ、自分として今は何をすべきかようやく見えてくるはずだ。

【人間的な、あまりに人間的な】



## イワン・パブロフ (帝政ロシア・ソビエト連邦の生理学者)

1849年9月14日	モスクワに近いリャザンで、貧しい牧師の長男として生まれる。
1857年	高い塀から落ち重傷を負い長期療養。
1860年	リャザンにある教会の附属学校に入学。
1864年	リャザン神学校入学。1869年卒業。
1870年	サンクトペテルブルク大学進学。イリヤ・ファデエヴィチ・ツイオンの弟子となり外科医となる。
1876年	軍医学校に進学。
1879年	医師の資格取得。医師ポートキンの生理学研究所就職。
1883年	博士の学位取得。
1884年～1886年	ドイツの大学へ留学。
1888年	消生理学研究開始。
1897年	「主要消化腺の働きに関する講義」を出版。
1902年	唾液が口の外に出る手術をした犬が飼い主の足音で唾液を分泌することを発見。 行動主義心理学の古典的条件づけや、行動療法に大きな影響を与えた。
1904年	ノーベル生理学・医学賞を受賞。
1970年	ロシア科学アカデミーの会員に選出される
1936年2月27日	死没。享年 86歳。



### オススメの BOOK

#### 「わたしの香港」

著者 カレン・チャン

出版社 垂紀書房

著者は1993年中国深圳に生まれ、幼少の頃両親とともに香港に移り住む。その後両親は離婚、生活苦から中学校は公立で学ぶ。ジャーナリスト。

ややもすれば香港は高層ビルが立ち並び、華麗な姿を見せているが、庶民の生活はそこからは想像できない。「消滅していく姿を詳細に記録することは、あらかじめ負けるとわかっている試合に臨むようなもの」と言いながらも「すべてが失ったあとの香港」ではなく「私たちが生きた証として」描いた香港が記載されている。日常生活での苦しみから「うつ病」にもなる。イギリスの植民地時代の生活。中国へ返還された後の香港。そして、雨傘運動など様々な視点から香港が語られている。

くらしと保険のおはなし



## ガソリン代高騰 燃費の良い走りをしましょう。

去年 1 月からのレギュラーガソリンの全国平均価格は、ウクライナ情勢などの影響で原油価格が高騰した影響を受け続けています。補助金がないと、1 リットル当たり 200 円以上も払わなければいけません。去年 1 月から補助金が支給され、170 円前後に何とか価格を抑えている状況でした。

しかし、今年 6 月から 2 週間ごとに補助金は徐々に引き下げられています。さらに、その補助金は 9 月末で終了してしまいます。では、ガソリン節約のため、少しでも燃費を良くするためにはどうしたらいいのでしょうか？



- ① 長時間停車するときはエンジンを停止する
- ② 不要な荷物はできるだけおろして軽くする
- ③ カラふかしは厳禁
- ④ エアコンをちょっと控えめに
- ⑤ タイヤの空気圧でも燃費節約可能
- ⑥ 発進・加速はスムーズがコツ

以上、車の燃費を良くするための運転ポイントです。

その他にも、無駄な車線変更はしない、上り坂では勾配のキツイ坂の中腹で加速するのではなく、坂に差し掛かる手前である程度加速しておく…などなど。細かい積み重ね的テクニックは意外とたくさんあります。

そんなに難しいことはありませんから、毎回少しずつでも実践してみてもいいかながらう。

### 【編集後記】

水害の被害の整理がまだ続いている中、今年の酷暑は半端ではない。8 月 23 日には最高気温が大館市で 38 度 7 分・秋田市でも 38 度 5 分を記録した。これは、いずれも観測史上最高気温である。それが、ここ数日連日猛暑日となって連続して続いており地球温暖化などと言われる程度の生易しいものではない。

遠く、ハワイマウイ島では熱波のためラハイナ市が大火災に見舞われ 1000 人以上の行方不明者や死者が出たと報道されている。

何かが狂っているとしか言いようがない。意味もない戦争も彼の地で続いている。普通の生活へ早く戻りたい。